

- 問1 種子植物が発芽する際、最初の養分を蓄えている葉の部分を何という？
- 問2 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？
- 問3 胎生を行う動物において、親から栄養や酸素を子に受け渡すための特別な器官を何という？
- 問4 顕微鏡の部品のうち、観察対象に最も近い位置に配置され、像を大きくする役割を持つものを何という？
- 問5 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？
- 問6 肺呼吸のほかに、皮膚を通した呼吸を併用して酸素を取り込む生物のグループを何というか？
- 問7 被子植物において、受粉後に発達して種子となる植物の組織を何という？
- 問8 顕微鏡で観察する際、対物レンズとプレパラートとの距離を調整するために回すねじを何という？
- 問9 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
- 問10 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？
- 問11 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？
- 問12 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
- 問13 被子植物が種子から発芽した際に最初に出る葉のことを何という？
- 問14 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？
- 問15 一般的に、顕微鏡の倍率が高い対物レンズほど、レンズの形にはどのような特徴があるか？
- 問16 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
- 問17 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？
- 問18 コケ植物が体を地面や岩に固定するために持つ、根のような働きをするつくりを何という？
- 問19 顕微鏡の構成要素のうち、観察者の目に近い位置にあるレンズを何という？
- 問20 昆虫やクモ、エビやカニなど、体や足に節があり、外骨格を持つグループを総称して何という？
- 問21 えらの表面に多数分布し、血液と水の間で気体を交換する器官を何というか？
- 問22 顕微鏡の倍率を決める際、目元側に取り付けられているレンズを何という？

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？ |
| 問2 | 植物の根の表面にある、水や養分を効率よく吸収するための小さな突起を何という？ |
| 問3 | 太い主根がなく、多数の細い根が広がっている根のタイプを特徴とする植物のグループを何という？ |
| 問4 | 脊椎動物の体の中心にあって、体を支えたり素早く動いたりする働きを持つ、硬い骨組みの集合体を何という？ |
| 問5 | 種子から最初に出る葉が2枚である植物のグループを何という？ |
| 問6 | アサリやカキのように、内臓が外とう膜に包まれ、二つの殻を持つ軟体動物のグループを何という？ |
| 問7 | 双子葉類の葉で見られる、葉脈が網目状に広がっている並び方を何というか？ |
| 問8 | 体温が周囲の環境温度の影響を直接受けて変化してしまう動物のグループを何という？ |
| 問9 | 顕微鏡の部品のうち、観察対象に最も近い位置に配置され、像を大きくする役割を持つものを何という？ |
| 問10 | 被子植物において、花粉が雌しべの先端部分に付着することを何という？ |
| 問11 | マツのような裸子植物において、胚珠がむき出しの状態から成長して形成される、繁殖のための器官を何という？ |
| 問12 | 肺の中で、血液と酸素をやり取りするために表面積を広げている小さな袋状の器官を何という？ |
| 問13 | 生物の細胞を顕微鏡で観察する際、核などの構造をはっきりと見えやすくするために使われる薬品の一種を何という？ |
| 問14 | イカや貝類のように、筋肉質の膜で内臓が包まれているグループに見られる器官を何という？ |
| 問15 | 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？ |
| 問16 | 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？ |
| 問17 | 背骨を持たない動物のグループの総称は何？ |
| 問18 | シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水の通り道のことを何という？ |
| 問19 | 多くの魚類が体表面を覆い、物理的な刺激から体を守るために持つ硬い板状の組織を何という？ |
| 問20 | 松や杉、イチヨウのように、葉が細長く乾燥に強い形状をしている植物のグループを何という？ |
| 問21 | 種子をつくらず、微細な粉のような器官を飛ばして子孫を増やす植物のグループを総称して何という？ |

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 硬い外骨格を持つ動物が、成長の過程で古い殻を脱ぎ捨てる現象を何という？ |
| 問2 | 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？ |
| 問3 | 種子植物が発芽する際、最初の養分を蓄えている葉の部分は何という？ |
| 問4 | アサガオやタンポポのような双子葉植物に見られる、中心となる最も太い根のことを何という？ |
| 問5 | 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？ |
| 問6 | 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？ |
| 問7 | 親が未受精卵を産み、外部で子の個体が形成される繁殖方法を何という？ |
| 問8 | 周囲の気温や水温の変化に合わせて体温が変化してしまう動物の分類を何という？ |
| 問9 | 爬虫類が体の乾燥を防ぐために全身を覆っている硬い構造を何という？ |
| 問10 | 節足動物などの体の表面を覆う、成長とともに脱皮を繰り返す必要がある硬い殻を何という？ |
| 問11 | 花のめしべの根元にある、将来果実になるふくらんだ部分を何という？ |
| 問12 | 根において、主根と側根の区別がある発達した根のタイプが見られるのは、どのような植物のグループか？ |
| 問13 | 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？ |
| 問14 | 葉脈が網目状に広がっていることが特徴である、被子植物の分類の一つを何という？ |
| 問15 | 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？ |
| 問16 | 昆虫やクモ、エビやカニなど、体や足に節があり、外骨格を持つグループを総称して何という？ |
| 問17 | アサリやカキのように、内臓が外とう膜に包まれ、二つの殻を持つ軟体動物のグループを何という？ |
| 問18 | マツのような裸子植物において、胚珠がむき出しの状態から成長して形成される、繁殖のための器官を何という？ |
| 問19 | 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？ |
| 問20 | 被子植物において、受粉後に子房全体が成長して変化した形のものを何という？ |
| 問21 | 背骨を持たない動物のグループの総称は何？ |
| 問22 | 葉脈の並び方が平行になっている植物のグループを何というか？ |
| 問23 | 種子から最初に出る葉が2枚である植物のグループを何という？ |

- | | |
|-----|--|
| 問1 | 体の中に棒状の骨格を持ち、それが体を支える中心となっている動物群を何という？ |
| 問2 | イカや貝類のように、筋肉質の膜で内臓が包まれているグループに見られる器官を何という？ |
| 問3 | ハチやチョウなどの昆虫によって花粉を運んでもらう植物の花を何という？ |
| 問4 | 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？ |
| 問5 | 受粉のあと、成長して中にある種子を守る役割を果たす部分を何という？ |
| 問6 | 受粉後、花の植物の器官のうち、成長して種子に変わる部分を何という？ |
| 問7 | 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？ |
| 問8 | 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？ |
| 問9 | 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？ |
| 問10 | 脊椎動物の体の中心にあって、体を支えたり素早く動いたりする働きを持つ、硬い骨組みの集合体を何という？ |
| 問11 | 被子植物において、受粉後に発達して種子となる植物の組織を何という？ |
| 問12 | 根から吸い上げた水や、そこに溶けている無機養分を体全体に運ぶための管を何という？ |
| 問13 | 魚類などが水中から気体を効率よく取り込むために必要な物質は何か？ |
| 問14 | 被子植物が種子から発芽した際に最初に出る葉のことを何という？ |
| 問15 | 花粉がめしべの先端部分に付着することを受粉というが、そのめしべの先端部分を何という？ |
| 問16 | 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？ |
| 問17 | 葉の根元から先端にかけて真っ直ぐに伸びるタイプの葉脈を何という？ |
| 問18 | シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水の通り道のことを何という？ |
| 問19 | 卵の中で胚が発生するために不可欠な栄養分を蓄えた部位を何という？ |
| 問20 | おしべやめしべなどの花を咲かせ、子房の中に胚珠があることで子孫を残す植物のグループを何という？ |
| 問21 | 背骨を持ち、体温を一定に保つ性質を持つグループのうち、乳を分泌して子を育てるものを何という？ |
| 問22 | 単子葉類に見られる、太い中心の根がなく、細い根が多数集まった根の形態を何という？ |

- 問1 花びらが互いに離れて独立している植物のグループを何という？
- 問2 顕微鏡の全体の倍率を求める際、対物レンズの倍率ともう一つ組み合わせて掛け合わせる、鏡筒の上の部分に取り付けられたレンズのことを何という？
- 問3 葉の根元から先端にかけて真っ直ぐに伸びるタイプの葉脈を何という？
- 問4 花粉がめしべの先端部分に付着することを受粉というが、そのめしべの先端部分を何という？
- 問5 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
- 問6 肺の中で、血液と酸素をやり取りするために表面積を広げている小さな袋状の器官を何という？
- 問7 種子から最初に出る葉が2枚である植物のグループを何という？
- 問8 肺呼吸のほかに、皮膚を通した呼吸を併用して酸素を取り込む生物のグループを何というか？
- 問9 ハチやチョウなどの昆虫によって花粉を運んでもらう植物の花を何という？
- 問10 葉脈が網目状に広がっていることが特徴である、被子植物の分類の一つを何という？
- 問11 コケ植物が体を地面や岩に固定するために持つ、根のような働きをするつくりを何という？
- 問12 親が未受精卵を産み、外部で子の個体が形成される繁殖方法を何という？
- 問13 カバーガラスを試料にかぶせる際、観察の邪魔にならないよう入らないように注意すべき空気の塊のことを何という？
- 問14 節足動物などの体の表面を覆う、成長とともに脱皮を繰り返す必要がある硬い殻を何という？
- 問15 コケ植物のように種子を作らず、受粉せずに増えるために用いられる微細な繁殖用の粒を何という？
- 問16 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
- 問17 シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水の通り道のことを何という？
- 問18 花のめしべの根元にある、将来果実になるふくらんだ部分を何という？
- 問19 両生類の幼生が水中で呼吸するために用いる器官を何という？
- 問20 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
- 問21 全身を覆う特徴的な体表構造を持ち、卵から生まれるという繁殖形態をとる脊椎動物を何という？
- 問22 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？